平成30年5月1日

らいかい恵子 議員便り 194号

合志市議会議員　来海恵子　合志市幾久富1642－38　☎ 090-9655-1143

風薫る5月、いかがお過ごしですか。4月末、母と伊勢神宮に参拝して、喜ぶ姿を見て嬉しかったです。私の願いは、仲良く協力しあって良か合志市をつくることです。みなさん、仲良しになってください。m(_ _)m
来海は、毎月一人で歩いて議員便り8,000枚配っています。

合志市 安全安心のキーマン！

4月1日付けで、合志市の安全･安心の暮らしを守るキーマンの3人が着任されましたのでご紹介します。3人とも合志市在住でプロフェッショナル、より信頼感が増して心強いです。

交通と防犯のプロ、危機管理監！

岩本信行危機管理監

交通防災課に、元熊本県警察（平成29年退職）から永江団地自治会で町内会長をされている岩本信行（いわもとのぶゆき）さんが危機管理監として着任されました。

来海：岩本さんとは、何度か議員便りを配って声を掛けていただいたことがあります。その節は、ありがとうございました。

岩本：朝早かったので、最初はビックリしました。（笑）

来海：熊本北合志警察署（☎ 341-0110）が新設されましたが、合志菊陽交番の名称と管轄は何処になりますか？

岩本：熊本北合志警察署の管轄で、合志交番（☎ 248-5223）に名称が変更になり、菊陽交番が新たに光の森に新設されました。熊本県で合志市･菊陽町･大津町だけが2045年まで人口が増えると予測されており、将来的に氷川町のように色々な機能を備えた幹部交番が必要となってくるのではないでしょうか。

来海：合志市は、犯罪についてはどんな環境でしょうか？

岩本：位置的には、高速インターやJRが近くにあり交通の便が良くて移動がしやすい。新興住宅に人口の8割が住んでいて、隣近所の顔を知らないし関心が無い。共稼ぎが多く、昼間不在が多い。顔を見られても、認識しない。空き巣など犯罪者にとっては、活動しやすい場所だと思います。反対に既存地区は、隣近所の顔を知っており、共存意識が高く、犯罪の抑止に効果があると考えています。

来海：私たちも、犯罪を起こさせないように一人ひとり注意が必要ですね。

岩本：直に警察官から、自治会や老人会などで生の実情を話してもらう。現場を知っているので、リアルに伝わります。話を聞いて我が家をチェックすると防犯効果が高くなるので、こういうことをやっていきたいです。

来海：区長会で実例を挙げながら話させていただき、各区で取り入れてもらうといいですね。まずは、考えを区長さん達に知っていただくことが大事だと思います。合志市は交通渋滞も大きな課題ですが、いかがお考えですか？

岩本：朝晩は抜け道で団地内も渋滞がひどく、事故の発生も危惧されます。団地内を面と捉えて速度規制や、市道の調査をして見直しを図り、住民の総意で警察など関係機関に強く要望していくことが必要です。

来海：議会の一般質問でも西嶌議員や松井議員がその点については質問されていますし、市長も幹線道路の交通渋滞解消等について力を入れられています。

来海：岩本さんは永江自治会の町内会長もされており地域の実情にも詳しいですが、今後力を入れたいのは何ですか？

岩本：子どもは増えているが、子ども会の会員が減って活性化していません。子どもは未来からの預かり者、私たちも将来必ず世話になります。だからこそ、子ども会の活動を応援しています。小さい頃に良い思い出を沢山作ってあげ、大きくなって東京や大阪に行ったときに永江団地は･合志市は自分の故郷だから頑張ると言って貰いたいです。子ども会の役員のなり手がいなくて会員数が減っており、自治会の中に子ども会を入れて応援すれば活性化に繋がると思います。

防災のプロ、防災対策監！

交通防災課に、元陸上自衛隊（平成30年1月退職）から須屋みずき台在住の松本幸徳（まつもとゆきのり）さんが防災対策監として着任されました。

来海：松本さんとはお互い故郷が愛媛県で、昨年の2月県の火の国防災塾で偶然席が隣

だったという不思議なご縁を感じます。その時に防災監（大規模な災害などの発生時に、住民の生命、身体、財産を守るため、市長を補佐し、応急対策等を総合的に実施する）について教えていただき、一般質問しました。なぜ、防災士の資格を取られたのですか？

松本幸徳防災対策監

松本：定年間近で、退官後は地域の役に立ちたいと防災士の資格を取りました。

来海：自衛官は誕生月に退官しますが、着任までどんなことをされていたのですか？

松本：家族はみずき台に住んでいて、自宅は一部損壊でした。熊本地震時、私は兵庫県でしたので、まずは、合志市を知ろうと退任前から散歩しながら見て回りました。また、議会の傍聴で防災についての市や議会の考えを学びました。

来海：市内を歩かれての印象は？

松本：車と歩くのでは、印象が違いました。合志市は住みやすく自然豊かです。しかし、阿蘇山に近く火山の噴火や、合志市上空は航空機の航路になっており、航空機事故等に注意が必要です。

来海：防災対策監として、何に一番取り組みたいですか？

松本：まずは、地区防災計画（自治会ごと）の作成に取り組みたいです。そのためには、自治会の理解と協力なしにはできません。地域の方に顔を覚えていただくために、あらゆる機会に地域に出向きご意見を伺いたいです。また、災害はいつ起こるか分からず、職員が災害時に速やかに行動できるように職員研修や訓練を定期的、かつ段階的に実施していきたいと思います。

来海：昨年から、合志市は菊池市や菊陽町と合同で防災士の養成に取り組んでいます。私も昨年、防災士の資格を取りました。青山議員の一般質問にもありましたが、市は防災士の力をどのように活用されたいですか？

松本：木永交通防災課長も、防災士の資格を取られています。今年度中に「合志市防災士連絡協議会」を設立する予定で、登録の申請をお願いしています。ちなみに昨年度は約３２名、今年後は約３１名防災士が誕生しています。防災士の資質の向上を図り、将来的には地域防災計画に基づき各自治体組織の中に防災士も入り、自営消防団とともに区長をサポートして地域のリーダーになっていただきたいです。

来海：最小単位の方が、地域の顔が見えるから良いのですか？

松本：組や班ごと最小単位で顔が見えて（要支援者や一人暮らしなど）が把握できるし、情報も伝えやすい。また、看護師や医者、介護士などの職業も分かり、公民館など地域での避難所の運営がしやすいです。そのために、地域に出向いて顔を覚えていただくように努めます。

工藤良一危機管理調整監

命を守る福祉の要、危機管理調整監！

3月まで2年間交通防災課にいた元熊本県警（平成28年3月退職）ユトリック団地在住の工藤良一（くどうりょういち）さんが、女性子ども支援課に危機管理調整監として移動されました。とても穏やかで聞き上手、職員の信頼が厚い方です。

来海：女性子ども支援課（夫やパートナーからの暴力・離婚・虐待・家族間トラブル・対人関係・非行など）は、命に関わる事が多く警察との連携が不可欠です。また、福祉全般をみるので健康福祉部の職員も経験豊富な工藤さんに相談に乗っていただけ心強いですね。

工藤：2年前交通防災課に配属時、市長から「職員や市民を守ってほしい！」と言われました。熊本地震直後は市民も職員も初めての体験で混乱し、特に職員は日々の業務と併せて昼夜を問わず地震の対応に追われストレスが溜まっていました。

来海：みんな、必死でした。工藤危機管理監が、青パトで通学路、庁舎内や市民センター、小中学校などを巡回され、相談に乗っている姿をよく拝見して頼もしく思っていました。

工藤：市民や職員の話をよぉく聴いて、頼ってもらえるように心がけています。

来海：女性子ども支援課の相談は、複雑で解決しにくい問題が多いようですね。

工藤：DVと離婚や不登校などが複雑に絡み合い命に関わる問題も多く、相談時間も昼夜を問いません。新設された熊本北合志警察署や大津警察署などに行くと、「合志市の女性子ども支援課は、手続きや相談に職員が同行して親身で素晴らしい！」と高い評価を得ています。また、相談に当たる職員のメンタルケアーの必要性を感じており、パンクしないよう見まもります。女性子ども支援課（☎248-1119）は連休明けからヴィーブルに移り、相談室も個室で相談しやすいです。心配事があれば、遠慮しないでご相談ください。こじれてからでは、解決まで時間がかかります。相談者や職員の心に、より沿うよう努めます。

〒861-1112 合志市幾久富 1642-38　来海恵子　☎ 090-9655-1143
Mail rai-ok@nifty.com　http://raikaikeiko.info/